



2023年2月1日

各位

会社名 **株式会社メディopalホールディングス**
代表者名 代表取締役社長 渡辺 秀一
(コード番号 7459 東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役管理本部長 左近 祐史
(TEL. (03) 3517-5171)

(開示事項の経過) 簡易株式交換による東七株式会社の完全子会社化に関するお知らせ

当社は、2022年7月29日付「東七株式会社の株式取得に関する基本合意書締結のお知らせ」にて開示しましたとおり、東七株式会社（以下、「東七」という。）との間で東七の発行済株式の全てを取得する取引を行うことに関して両社で基本合意書を締結し、検討・協議を進めてまいりましたが、本日開催の取締役会において、当社を株式交換完全親会社、東七を株式交換完全子会社とする株式交換（以下、「本株式交換」という。）を行うことを決議し、同日付で株式交換契約（以下、「本株式交換契約」という。）を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社は、会社法第796条第2項の規定に基づき、簡易株式交換の手続により、株主総会の承認を得ることなく本株式交換を行う予定です。

記

1. 本株式交換の目的

当社は、「医療と健康、美」のフィールドで主に卸売事業を営んでおります。主要な事業セグメントである医療用医薬品等卸売事業では、社会保障費の増大による医療費抑制策や物流業界における人手不足など、事業環境の変化が急速に進んでおります。

このような環境下において、当社は、長崎県及び佐賀県における事業基盤のさらなる強化・充実を図るために、1906年（明治39年）の創業以来“クスリの東”として長崎県及び佐賀県で取引先と密接な信頼関係を築き上げている東七と本株式交換を実施するとの判断に至りました。これまでのグループ会社としての関係から完全子会社化することで、今後さらなる密接な連携と協業体制の構築へと発展させ、九州地域の流通インフラを強固なものとし、健やかな社会の実現への貢献と当社グループの企業価値の向上を目指してまいります。

2. 当社と東七との本株式交換の要旨

(1) 本株式交換の日程

| | |
|-----------------------|----------------|
| 本株式交換契約締結の取締役会決議日（東七） | 2023年1月30日 |
| 本株式交換契約締結の取締役会決議日（当社） | 2023年2月 1日 |
| 本株式交換契約締結日（両社） | 2023年2月 1日 |
| 本株式交換承認臨時株主総会（東七） | 2023年2月24日（予定） |
| 本株式交換の効力発生日 | 2023年4月 3日（予定） |

- (注1) 当社は、会社法第 796 条第 2 項の規定に基づき、簡易株式交換の手続により、株主総会の承認を得ることなく本株式交換を行う予定です。
- (注2) 当社は、本株式交換に先立ち、東七の発行済株式の一部を少数株主から取得する（以下、「事前取得」という。）予定です。
- (注3) 上記日程は、手続進行上の必要性その他の理由により、両社の合意に基づき変更されることがあります。

(2) 本株式交換の方式

当社を株式交換完全親会社とし、東七を株式交換完全子会社とする株式交換を行います。

(3) 本株式交換に係る割当ての内容

| 会社名 | 当社 (株式交換完全親会社) | 東七 (株式交換完全子会社) |
|-----------------|----------------------|-------------------|
| 本株式交換に係る割当比率 | 1 | 580 |
| 本株式交換により交付する株式数 | 普通株式：4,228,200 株（予定） | |

(注1) 株式の割当比率

東七の普通株式 1 株に対して、当社の普通株式 580 株を割当交付いたします。ただし、当社が 2023 年 2 月 1 日現在保有する及び事前取得により取得する予定である東七の普通株式については本株式交換による割当ては行いません。

(注2) 本株式交換による交付する当社株式の数

当社は、本株式交換に際して、本株式交換により当社が東七の発行済株式（ただし、当社が 2023 年 2 月 1 日現在保有する及び事前取得により取得する予定である東七の普通株式を除きます。）の全部を取得する時点の直前時（以下、「基準時」という。）における東七の株主の皆様（ただし、以下の自己株式が消却された後の株主をいい、当社を除きます。）に対して、その保有する東七の普通株式に代えて、上記表の本株式交換に係る割当比率（以下、「本株式交換比率」という。）に基づいて算出した数の当社株式を割当交付いたします。また、本株式交換に際して交付する当社株式は、全て当社が保有する自己株式を交付する予定であり、当社が新たに株式を発行することは予定しておりません。なお、東七は、本株式交換の効力発生日の前日までに開催される東七の取締役会の決議により、基準時において東七が保有する自己株式（本株式交換に際して行使される会社法第 785 条第 1 項に基づく反対株主の株式買取請求により東七が取得する自己株式を含みます。）の全部を、基準時において消却する予定です。本株式交換により交付する当社株式の数については、東七による自己株式の取得・消却等の理由により今後修正される可能性があります。

(注3) 単元未満株式の取扱い

本株式交換に伴い、当社の単元未満株式（100 株未満の株式）を保有することとなる東七の株主の皆様におかれましては、当社株式に関する以下の制度をご利用いただくことができます。なお、金融商品取引所市場においては、単元未満株式を売却することはできません。

① 単元未満株式の買取制度（1単元（100株）未満株式の売却）

会社法第192条第1項の規定に基づき、当社の単元未満株式を保有する株主の皆様が、当社に対して、その保有する単元未満株式を買い取することを請求し、これを売却することができる制度です。

② 単元未満株式の買増制度（1単元（100株）への買増し）

会社法第194条第1項及び当社の定款の規定に基づき、当社の単元未満株式を保有する株主の皆様が、当社に対して、その保有する単元未満株式の数と併せて1単元（100株）となる数の当社株式を売り渡すことを請求し、これを買い増すことができる制度です。

(4) 完全子会社となる会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

本株式交換により株式交換完全子会社となる東七は、新株予約権及び新株予約権付社債を発行しておりませんので、該当事項はありません。

3. 本株式交換に係る割当ての内容の根拠等

(1) 割当ての内容の根拠及び理由

当社は、上記「2. 当社と東七との本株式交換の要旨」の「(3) 本株式交換に係る割当ての内容」に記載の本株式交換比率の検討にあたり、その公平性・妥当性を確保するため、独立した第三者算定機関としてデロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社（以下、「デロイト トーマツ」という。）を選定し、株式交換比率の算定を依頼いたしました。当社は、両社の財務状況、将来の見通し、株価動向等の要因、及びデロイト トーマツから提出を受けた株式交換比率の算定結果を総合的に勘案し、慎重に協議を重ねた結果、本株式交換比率がそれぞれの株主の利益を損ねるものではなく妥当であるとの判断に至ったため、本株式交換比率により本株式交換を行うことにつき、本日開催された当社の取締役会決議及び2023年1月30日に開催された東七の取締役会決議に基づき、両社間で本株式交換契約を締結することといたしました。

また、本株式交換比率は、算定の根拠となる諸条件について重大な変更が生じた場合、両社間の協議により変更することがあります。

(2) 算定に関する事項

①算定機関の名称並びに上場会社及び相手会社との関係

デロイト トーマツは、当社及び東七から独立した第三者算定機関であり、当社及び東七の関連当事者には該当せず、本株式交換において記載すべき重要な利害関係を有しません。

②算定の概要

デロイト トーマツは、当社については、東京証券取引所に上場しており、市場株価が存在することから、市場株価法（2023年1月31日を算定基準日とし、算定基準日の終値、並びに算定基準日以前の1ヶ月間、3ヶ月間及び6ヶ月間の各期間の終値の単純平均値に基づき算定）を用いて算定しております。

東七については、同社が非上場会社であることから、将来の事業活動の成果を企業価値評価に反映させるためディスカунテッド・キャッシュ・フロー法（以下、「DCF法」という。）

を、また、比較可能な上場類似企業が存在することから類似会社比較法をそれぞれ採用いたしました。なお、DCF 法において基礎として使用した東七の財務予測については大幅な増減益を見込んでおりません。

各評価方法における当社の1株当たりの株式価値を1とした場合の東七の評価レンジは、以下のとおりとなります。

| 採用方法 | | 株式交換比率の算定結果 |
|-------|---------|-------------|
| 当社 | 東七 | |
| 市場株価法 | DCF 法 | 516～634 |
| | 類似会社比較法 | 493～599 |

デロイト トーマツは、上記株式交換比率の算定に際して、デロイト トーマツが検討した全ての公開情報、両社がデロイト トーマツに提供し、又はデロイト トーマツと協議した財務その他の情報で株式交換比率の算定に際して実質的な根拠となった情報の全てが、正確かつ完全であることを前提としており、独自にそれらの正確性及び完全性の検証を行っておりません。また、デロイト トーマツは、両社とその関係会社の資産又は負債（金融派生商品、簿外資産及び負債、その他の偶発債務を含みます。）について、個別の各資産及び各負債の分析及び評価を含め、独自に算定、鑑定又は査定を行っておらず、第三者機関への鑑定又は査定の依頼も行っておりません。デロイト トーマツの株式交換比率の算定は、算定基準日現在までの情報及び経済条件を反映したものであり、東七の財務予測（利益計画その他の情報を含みます。）については、現時点で得られる最善の予測及び判断に基づき合理的に検討又は作成されたことを前提としております。

(3) 上場廃止となる見込み及びその事由

本株式交換に伴い、当社が上場廃止となる見込みはございません。また、東七は非上場会社であるため、該当事項はございません。

4. 株式交換当事会社の概要

| | 株式交換完全親会社 (2022年9月30日現在) | 株式交換完全子会社 (2022年11月30日現在) |
|---------------|--|------------------------------------|
| (1) 名称 | 株式会社メディパルホールディングス | 東七株式会社 |
| (2) 所在地 | 東京都中央区八重洲2丁目7-15 | 長崎県佐世保市瀬戸越4丁目1318-1 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 渡辺 秀一 | 代表取締役会長 東 勇太郎 代表取締役社長 東 幸三 |
| (4) 事業内容 | 持株会社として「医療用医薬品等卸売事業」、「化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業」、「動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業」などを行う関係会社の株式を所有する事による当該関係会社の経営活動の管理・支援及び当社グループにおける事業開発等 | 医療用医薬品卸売事業、医療機器・介護サービス支援事業、不動産賃貸事業 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|------------------------------|--------------------------------------|---------------|---------------|--|-------------|--------------------|---------------|--------------------|------|--|------|--|------|----------|------|---|------|--|------|--|------|---|-------|-------|------|-------|------------------|-------|
| (5) 資本金 | 22,398 百万円 | 30 百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (6) 設立年月日 | 1923年5月6日 | 1990年8月24日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (7) 発行済株式数 | 244,524,496 株 | 12,000 株 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (8) 決算期 | 3月31日 | 11月30日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (9) 従業員数 | 12,824 名(連結) | 268 名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (10) 主要取引先 | 調剤薬局,ドラッグストア,病院 | 調剤薬局、病院 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (11) 主要取引銀行 | 株式会社みずほ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行 | 株式会社十八親和銀行、株式会社福岡銀行、株式会社佐賀銀行 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (12) 大株主及び持株比率 (注1) | <table border="0"> <tr> <td>日本マスタートラスト信託銀行</td> <td>12.8%</td> </tr> <tr> <td>株式会社(信託口)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST</td> <td>4.6%</td> </tr> <tr> <td>株式会社日本カストディ銀行(信託口)</td> <td>4.4%</td> </tr> <tr> <td>MP グループメディセオ従業員持株会</td> <td>2.8%</td> </tr> <tr> <td>NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS</td> <td>2.7%</td> </tr> <tr> <td>STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001</td> <td>2.6%</td> </tr> <tr> <td>小林製薬株式会社</td> <td>2.4%</td> </tr> <tr> <td>株式会社日本カストディ銀行(三井住友信託銀行再信託分・エーザイ株式会社退職給付信託口)</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY</td> <td>2.0%</td> </tr> <tr> <td>STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103</td> <td>1.7%</td> </tr> </table> <p>(2022年9月30日現在)</p> | 日本マスタートラスト信託銀行 | 12.8% | 株式会社(信託口) | | NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST | 4.6% | 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 4.4% | MP グループメディセオ従業員持株会 | 2.8% | NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS | 2.7% | STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001 | 2.6% | 小林製薬株式会社 | 2.4% | 株式会社日本カストディ銀行(三井住友信託銀行再信託分・エーザイ株式会社退職給付信託口) | 2.1% | NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY | 2.0% | STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103 | 1.7% | <table border="0"> <tr> <td>東 勇太郎</td> <td>16.4%</td> </tr> <tr> <td>東 幸三</td> <td>15.5%</td> </tr> <tr> <td>(株)メディパルホールディングス</td> <td>13.4%</td> </tr> </table> <p>(2022年11月30日現在)</p> | 東 勇太郎 | 16.4% | 東 幸三 | 15.5% | (株)メディパルホールディングス | 13.4% |
| 日本マスタートラスト信託銀行 | 12.8% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 株式会社(信託口) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST | 4.6% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 4.4% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| MP グループメディセオ従業員持株会 | 2.8% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS | 2.7% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001 | 2.6% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小林製薬株式会社 | 2.4% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 株式会社日本カストディ銀行(三井住友信託銀行再信託分・エーザイ株式会社退職給付信託口) | 2.1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY | 2.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103 | 1.7% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 東 勇太郎 | 16.4% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 東 幸三 | 15.5% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (株)メディパルホールディングス | 13.4% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (10) 当事会社間の関係 | <table border="0"> <tr> <td>資本関係</td> <td>当社は東七の発行済株式(自己株式を除く)の13.4%を保有しております。</td> </tr> <tr> <td>人的関係</td> <td>該当事項はありません。</td> </tr> <tr> <td>取引関係</td> <td>該当事項はありません。</td> </tr> <tr> <td>関連当事者への該当状況</td> <td>関連当事者に該当しません。</td> </tr> </table> | 資本関係 | 当社は東七の発行済株式(自己株式を除く)の13.4%を保有しております。 | 人的関係 | 該当事項はありません。 | 取引関係 | 該当事項はありません。 | 関連当事者への該当状況 | 関連当事者に該当しません。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 資本関係 | 当社は東七の発行済株式(自己株式を除く)の13.4%を保有しております。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 人的関係 | 該当事項はありません。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取引関係 | 該当事項はありません。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 関連当事者への該当状況 | 関連当事者に該当しません。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (11) 最近3年間の経営成績及び財政状態(単位:百万円。特記しているものを除く。) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 決算期 | 株式会社メディパルホールディングス(連結) | | | 東七株式会社(個別) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2020年 3月期 | 2021年 3月期 | 2022年 3月期 | 2020年 11月期 | 2021年 11月期 | 2022年 11月期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|
| 純資産 | 607,424 | 638,933 | 649,089 | 6,545 | 6,774 | 7,102 |
| 総資産 | 1,644,279 | 1,679,934 | 1,709,474 | 15,255 | 15,581 | 16,666 |
| 1株当たり純資産 (円) | 2,382.88 | 2,490.98 | 2,525.72 | 732,153.45 | 757,749.71 | 794,358.44 |
| 売上高 | 3,253,079 | 3,211,125 | 3,290,921 | 26,623 | 25,987 | 27,239 |
| 営業利益 | 53,109 | 38,576 | 45,624 | 86 | 37 | 175 |
| 経常利益 | 68,020 | 52,968 | 62,046 | 416 | 366 | 523 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 37,968 | 23,926 | 29,423 | 291 | 249 | 347 |
| 1株当たり当期純利益 (円) | 175.80 | 113.96 | 140.14 | 32,602.97 | 27,846.26 | 38,858.73 |
| 1株当たり配当金 (円) | 41.00 | 42.00 | 44.00 | 2,250.00 | 2,250.00 | 3,000.00 |

(注) 持株比率については、自己株式を除く発行済株式総数に基づき計算しております。また、東七につきましては、持株比率が10%超の株主を記載しております。

5. 本株式交換後の状況

本株式交換による当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期に変更はありません。なお、純資産及び総資産については現時点では確定しておりません。

6. 会計処理の概要

本株式交換に伴う会計処理は、企業結合会計基準における「取得」に該当する見込みです。なお、本株式交換により発生するのれん（又は負ののれん）の金額は、現時点で確定しておりませんが、当社に与える影響は軽微と見込んでおります。

7. 今後の見通し

本株式交換により、東七は当社の連結子会社となる予定です。当社の連結業績に与える影響等につきましては、軽微と見込んでおります。今後、業績予想の修正等、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

(参考) 当期連結業績予想及び前期連結実績

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する 当期純利益 |
|------------------------|-----------|--------|--------|---------------------|
| 当期連結業績予想 (2023年3月期) | 3,333,000 | 46,500 | 63,300 | 33,500 |
| 前期連結実績 (2022年3月期) | 3,290,921 | 45,624 | 62,046 | 29,423 |

以上